

平成30年度 事業実施報告書

一般社団法人 北陸地域づくり協会

事業名 (個別メニュー)	「北陸の視座」編集・発刊事業	事業経緯	継続	実施体制	主催	担当所属	企画調査室
事業名 (大項目)	国土の利用・整備・保全に関する資料等収集整理事業	分類名 (中項目)	資料収集・編纂事業			事業区分	調査、資料収集

1. 事業目的

本事業は以下の目的を達成するために発刊する。

- ① 北陸地域の社会資本整備や地域づくりに関連する、新たな視点や考え方、地域住民にとって参考となる情報を広く提供し、戦略策定や事業の推進に寄与する。
- ② 北陸地域の社会資本整備や地域づくり活動に関わる人々の交流と連携を促進する場として、産・官・学・民のネットワークの形成・強化・拡大を推進する。
- ③ 北陸地域の活性化戦略の推進に向けて、影響力を持つ内外のオピニオンリーダー層との情報交換・連携強化の場をつくる。
- ④ 誌面を通じて北陸地域の活性化戦略を構築し、その実現に向けての地域内世論の形成と、中央(中央官庁・政府等)への発信を行う。

2. 事業実施体制

- ・専門家・有識者による助言・提言
- ・調査・資料収集(直営)
- ・記録／誌面作成補助、印刷等(委託)

3. 事業実施概要

- ◆vol.32 発行
 - ・平成30年6月、2,200部発行し関係機関及び会員に配布
 - ・当会ホームページに掲載
- ◆vol.33 編集
 - ・平成30年11月21日に実施した「明日の地域を考える講演会」での提言を元に「多発する自然災害～備えはできていますか?～」をテーマに編集し、関連データを収集・整理した。
 - ・特集1は「多発する自然災害と備え」をテーマに、井田寛子氏(気象予報士・キャスター)の提言を元に整理した。
 - ・特集2は「中越大地震は何を教えているか」をテーマに、山口壽道氏(山の暮らし再生機構理事長)の提言を元に整理した。

4. 事業実施による効果(評価・貢献度等)

全国的な課題に関する情勢や動向および旬な話題を踏まえ、北陸地域の現状をデータで把握、比較ができるレポートとして配布先関係機関から高い評価を得ている。
 地域の実情を客観的に整理し発信することで、地域の課題が明確化し、適切な取り組みが実現するとともに、それに関わる人々の参画意識の高揚などが期待できる。

vol.32HP掲載

vol.32誌面

The image shows a collage of screenshots from the 'Hokuriku no Shisaku' website and magazine. The website screenshot (top left) displays the magazine's cover and a list of featured articles. The magazine page screenshot (top right) shows an article titled '少しの工夫で景観は変わる 人間をもてなす演出が地域の魅力を高めていく' (A little effort changes the landscape. Hospitality for humans raises the charm of the region). The bottom part of the image shows the magazine cover for '北陸の視座 vol.32 2018.6' with two main features: '1 景観を活かした地域づくり' (Landscape活用 for regional development) and '2 観光のまちづくり' (Tourism town development). Below the cover is a table of contents and a bar chart showing circulation data from 1990 to 2019.

年度	発行部数
1990	100
1991	150
1992	200
1993	250
1994	300
1995	350
1996	400
1997	450
1998	500
1999	550
2000	600
2001	650
2002	700
2003	750
2004	800
2005	850
2006	900
2007	950
2008	1000
2009	1050
2010	1100
2011	1150
2012	1200
2013	1250
2014	1300
2015	1350
2016	1400
2017	1450
2018	1500
2019	1550